



KYOTO MUSEUM OF
PHOTOGRAPHY

京都写真美術館®

〒605-0038 京都府京都市東山区堀池町 374-2

地下鉄東西線「東山駅」より徒歩5分／京阪本線「三条駅」より徒歩10分

TEL: 080-5988-7720 / MAIL: kyoto.japanesque@gmail.com

HP: <https://kyoto-muse.jp/japanesque/>

営業時間: 11:00~18:30 / 無休 (お盆・年末年始を除く)

hiro 作品展「令和循聖」

京都写真美術館 ギャラリー・ジャパネスクでは、2階「花」にて、2019年9月3日（火）から9月29日（日）まで、hiro 作品展「令和循聖」を開催いたします。

森羅万象に宿る希望の光を求めて

寺や神社に参拝した時の“新鮮な気持ち”は、どこからくるのだろうか？そんな疑問からカメラを寺や神社という聖なる場所に向けるようになりました。2015年11月のことです。撮影の際は、まずその寺や神社の歴史を知るところから始まり一般の参拝客と同様に参拝を行い、気持ちにリズムを作ります。三脚やストロボは使用せず、その神聖な場所を乱さないよう心がけています。

撮影を繰り返しているうちに、こう思うようになりました。

過去から現在に至る多くの参拝者の「祈り」「願い」といった様々な想いが無限に積み重なり、草・木・岩・花・水などに棲みつき、一体化している「場所」が、いたるところに存在するのではないかと。

その「場所」に呼びとめられ、共鳴するように撮影を続けました。

人々の「想い」「祈り」「決意」が、神聖な境内の「場所」に共鳴し、その「場所」に希望や生命力を蓄えてきました。

それが、私が感じていた“新鮮な気持ち”の源だったのです。

“新鮮な気持ち”、それは森羅万象に宿る生命力。

この作品『令和循聖』『令和美麗』は、“新鮮な気持ち”をその「場所」から抽出し、ビジュアルアートとして再現したものです。作品が今後、希望、勇気、決意などに繋がるサインとして沢山の人の届くことを願い、作品と真摯に向き合い、勉強し、ひとつひとつ丁寧に手がけていきたいと思っています。

hiro



※京都岡崎 蔦屋書店 3Fにて8月27日（火）から9月29日（日）まで「令和美麗」を開催。京都2会場にて同時期開催しますので是非ご高覧ください。

会期：2019年9月3日(火)～9月29日(日)

時間：11:00～18:30

※無休 / 入場無料

場所：京都市東山区堀池町 374-2

京都写真美術館 ギャラリー・ジャパネスク
2階展示室「花」

URL:

<https://kyoto-muse.jp/exhibition/81973>

hiro

福岡県生まれ。フォトグラファー

東京写真専門学校（現東京ビジュアルアーツ）を卒業。

元々は、東京に上京するための手段として進学。それまでカメラに触ったことはなく、入学時に初めての一眼レフカメラ、ニコンF2フォトミックASを購入。

卒業制作（人物を使った心象風景を制作）を通し、写真の世界にどんどんのめり込んでいった。卒業後、1981年よりプロカメラマンとして始動。広告制作会社を経て、広告、ファッション、エドトリアルを中心にフリーランスとして活躍中。2017年hiro名義での初個展を銀座ソニーイメージングギャラリーにて開催。2019年1月、事務所の拠点を東京/渋谷から福岡/糸島へ移す。今後は、寺・神社での撮影を継続しつつ、海外の歴史ある教会、古城、聖なる場所などでの撮影・作品制作も視野に入れている。

<https://www.ranka.me/>